

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2012-159838(P2012-159838A)

【公開日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-033

【出願番号】特願2012-9354(P2012-9354)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16

G 03 G 15/00 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月26日(2015.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非イオン性界面活性剤およびフッ素化界面活性剤を含み、

前記非イオン性界面活性剤は、約0.05重量%～約0.15重量%の量で存在する、可撓性転写部材。

【請求項2】

第1の層および最終層を含む複数の可撓性層を含む、請求項1に記載の転写部材。

【請求項3】

前記第1の可撓性層が前記非イオン性界面活性剤を含み、

前記最終層が前記フッ素化界面活性剤を含む、請求項2に記載の転写部材。

【請求項4】

前記フッ素化界面活性剤が、約0.006重量%～約0.06重量%の量で存在する、請求項1～3のいずれか1項に記載の転写部材。

【請求項5】

電気的特性を調節する材料をさらに含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の転写部材。

【請求項6】

前記材料がカーボンブラックを含む、請求項5に記載の転写部材。

【請求項7】

外面が、少なくとも約70°の水接触角；約10⁷ / ~約10¹³ / の表面抵抗率；またはその両方を含む、可撓性転写部材。

【請求項8】

フッ素化界面活性剤を含み、

前記フッ素化界面活性剤が、約0.006重量%～約0.06重量%の量で存在する、請求項7に記載の転写部材。

【請求項9】

非イオン性界面活性剤を含む、請求項7に記載の転写部材。